

羅臼町橋梁長寿命化修繕計画



平成 24 年 3 月

平成 29 年 3 月(修正)

平成 29 年 12 月(修正)

1 長寿命化修繕計画策定の背景・目的

■ 背景

羅臼町が管理する道路橋は、平成 29 年 12 月現在、**5 橋**です。

これらの橋梁は 1960～1970 年代に建設され、**20 年後には全ての橋梁が建設後 50 年を経過する高齢化橋梁**となります。

これら橋梁の維持管理について、従来の損傷が大きくなってから補修する方針を継続した場合、維持管理に要する費用が膨大となり、安全性・信頼性を確保するための適切な維持管理を続けることが困難となる恐れがあります。

このような背景から、**限られた財源の中で効率的に維持管理していくためには、適切な時期に修繕を行うなどの維持管理計画の取組みが不可欠**となります。

■ 目的

羅臼町では、**将来的な財政負担の低減**および地域の**道路ネットワークの安全性・信頼性を確保**するために、**橋梁長寿命化修繕計画を策定**します。

この計画は、高齢化の進む橋梁に対応するため、従来の事後保全的な対応（損傷が大きくなってから行う修繕・架替え）から、予防保全的な対応（損傷が小さなうちから計画的に行う修繕・計画的架替え）に転換を図ることによる、**コスト削減および長寿命化(延命化)**を目的としています。

2 長寿命化修繕計画の対象橋梁

■ 対象橋梁

番号	路線名	橋梁番号	橋梁名	上部工形式	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設年 (年)	供用年 (年)
1	公住橋線	0001	公住橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	62.18	8.40	7.50	1962 (昭和37年)	55
2	陸志別1号線	0002	滝見橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	35.90	7.00	6.00	1977 (昭和52年)	39
3	植別1号線	0003	無名橋(5)	H形鋼 H形鋼(合成)	12.30	5.60	5.00	1979 (昭和54年)	38
4	緑町2号線	0004	無名橋(上)	H形鋼 H形鋼(合成)	3.15	5.00	4.00	1973 (昭和48年)	44
5	幌萌公園線	0005	幌萌橋	鋼溶接橋 I桁(合成)	23.00	7.30	6.50	1958 (昭和33年)	59

3 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

■ 健全度の把握に関する基本的な方針

橋梁の建設年や利用状況などを考慮しつつ、定期的(5年に1回)に橋梁点検を実施し健全度を把握します。また、最新の点検データを随時更新し、管理します。

■ 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁点検結果を基に、以下に示すパトロール体制により維持管理を行います。

(1) 定期パトロール

1回/月の頻度で各橋梁の橋面と桁下の状況を遠方目視にて確認します。

(2) 異常時パトロール

地震・大雨などの異常出水時および必要と認められた場合は、速やかに各橋梁の橋面状況と橋梁桁下の状況を確認します。

4 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る 費用の縮減に関する基本的な方針

■ 長寿命化によるコスト縮減

橋梁点検結果を基に、損傷に対する劣化予測を行い、**予防的な修繕の実施**を徹底することにより、大規模修繕・架替えおよび事業費の**高コスト化を回避し、全体的なコスト縮減を図ります。**

■ 予防的な修繕に関する方針

高齢化の進む橋梁に対応するため、従来の事後保全的な対応（損傷が大きくなってから行う修繕・架替え）から、**予防保全的な対応**（損傷が小さなうちから計画的に行う修繕・計画的架替え）に**転換を図ります。**

また、詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直します。

■ 利用状況を考慮した維持管理区分の選定

各橋の利用状況から重要度を設定し、損傷状況と重要度を勘案して優先的に修繕が必要な橋梁を選定します。

高	維持管理区分	内 容	対象橋梁
↑ 重要度 ↓	A	町道種別が1級路線	公住橋 無名橋（5）
		日常生活で重要な役割を果たしている路線（通学路、通院路）	
		生活施設（水道施設）へ通じる唯一の路線	
		迂回路がない路線	
	B	維持管理区分A以外で、復旧が困難な橋梁	滝見橋
	C	経過観察による補修計画を立案する橋梁	無名橋（上）
低	—	補修をせず撤去する橋梁	幌萌橋

5 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び 修繕内容・時期又は架替え時期

■ 今後の修繕予定項目

次回の橋梁点検は2021年を予定します。また、今後の主な修繕内容は下表となります。

修繕時期を決定するに当り、橋梁の損傷状況と重要度を考慮し優先順位を決定します。

橋梁名	路線名	橋種	橋長 (m)	架設年 (年)	供用年 (年)	最新点検 年次(年)	今後実施予定の 主な対策内容
公住橋	公住橋線 (1級町道)	鋼橋	62.18	1962 (昭和37年)	55	2016 (平成28年)	塗装塗替え 床版補修 (平成28年迄に一部対策済)
滝見橋	陸志別1号線 (その他の町道)	鋼橋	35.90	1977 (昭和52年)	39	2016 (平成28年)	地覆補修 支承モルタル補修 防護柵取換 排水管補修
無名橋(5)	植別1号線 (その他の町道)	鋼橋	12.30	1979 (昭和54年)	38	2016 (平成28年)	(平成29年迄に一对策済)
無名橋(上)	緑町2号線 (その他の町道)	鋼橋	3.15	1973 (昭和48年)	44	2016 (平成28年)	塗装塗替え 床版補修 防護柵取換
幌萌橋	幌萌公園線 (その他の町道)	鋼橋	23.00	1958 (昭和33年)	59	2016 (平成28年)	橋梁撤去

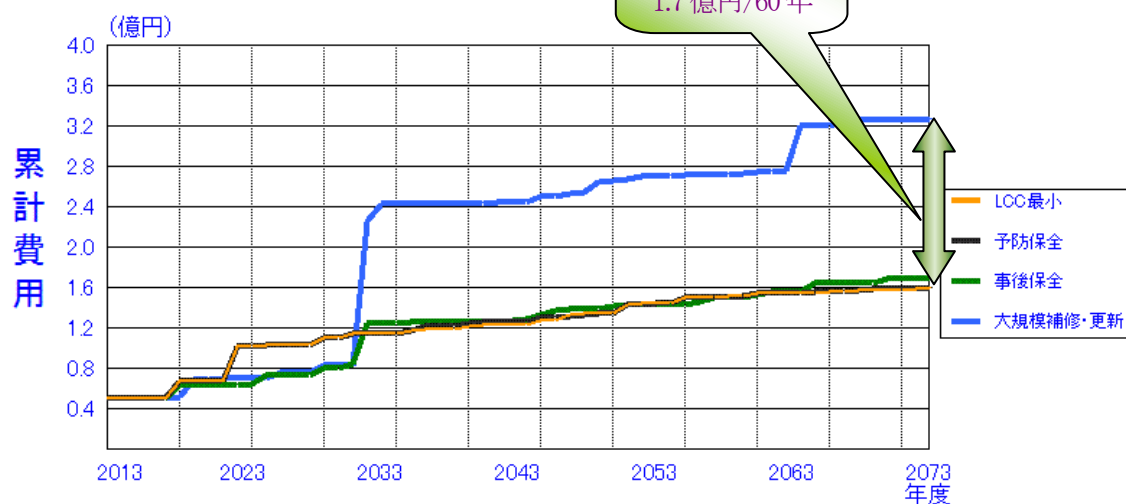
6 長寿命化修繕計画による効果

■ 今後60年の修繕・架替え事業費の試算

予防保全型の累計は約1.6億円、大規模補修・更新の累計は約3.3億円となり、**予防保全型の維持修繕を実施することにより約1.7億円のコスト削減効果が期待できます。**

(事後保全型の累計は約1.7億円)

保全・更新費用の推移



7 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門的な知識を有する者

■ 意見を聴取した学識経験者

北海学園大学 工学部 社会環境工学科 教授 杉本 博之

■ 計画策定担当部署

羅臼町 建設水道課

住 所 北海道目梨郡羅臼町栄町 100 番地 83

電 話 0153-87-2163

